

令和6年度 課長方針 検証

部課	水道部 業務課	課長	尾上 聡
----	---------	----	------

課の運営方針
・蕨市水道ビジョンに基づき、行動計画を積極的に推進する。 ・担当業務以外の知識についても習得を進め、自己研鑽を図るとともに業務全般についての認知を深め、配置転換、支援等に対しても滞りなく対応できるよう備える。 ・公営企業に従事する職員として、常に効率的かつ効果的な水道事業の遂行を意識して職務にあたる。 ・常に用務の改善を心がけ、原理原則に基づき効率化を推進する。

達成状況

◎…目標どおり、事業を進めている
○…目標をおおむね達成し、事業を進めている
△…事業を一部進めているが、目標の達成には至っていない。
×…事業の実施に向け検討中。未達成。

主要事業			令和6年度主要事業の検証	
事業名	事業内容	目標	達成状況	取組み内容
水道事業経営	経営理念に基づき事業を管理・遂行するとともに、健全経営を推進し、お客様から信頼される水道事業を継続する。	・経常収支比率100%以上を維持する。 ・有収率96%以上を維持する。 ・水道料金収納率(令和5年度調定分)99.9%以上を維持する。	○	・経常収支比率 107.78% ・有収率 95.87% ・水道料金収納率(令和5年度調定分) 99.93%
財務管理	会計処理事務を適切に執行する。	支出負担行為書の確認及び支出伝票を法令等に基づく内容審査を徹底するとともに、説明責任を果たすため、精緻かつ正確な審査業務を継続する。	◎	水道利用者の信頼を裏切らない、精緻かつ正確な審査業務を進め、適切な会計処理業務を実施することができた。
情報システムの管理	企業会計システム及び水道料金システムを適切に運用する。	機器及びシステムの維持管理を確実に実施し、情報管理の安全性を担保する。	◎	両システム共に問題なく対応できた。概ね支障なく、安定した運用を実施でき、情報管理の徹底を図った。

令和6年度 課長方針 検証

部課	水道部 維持管理課	課長	鈴木 昭弘
----	-----------	----	-------

課の運営方針
○課員全員が、水道事業が市民生活や事業活動、都市機能を維持するための基盤施設として、社会経済活動全般にわたって不可欠なものであるだけでなく、多様かつ高度な機能が求められていることを常に意識して業務を遂行する。 ・安心、安全で清浄な水道水を安定的に供給するため、計画事業の実施に万全を期す。 ・「水道事業ビジョン」をはじめとする各種計画を着実に進める。 ・大規模災害発生時等における水の確保や早期復旧に備え、然るべき準備を進める。 ・課内の意思疎通を密にし、問題に対する改善意識、協力意識を常に高め合う。 ・業務に関し必要となる新たな知識や技術の習得に励み、各自が自己啓発を図る。

達成状況

◎…目標どおり、事業を進めている
○…目標をおおむね達成し、事業を進めている
△…事業を一部進めているが、目標の達成には至っていない。
×…事業の実施に向け検討中。未達成。

主要事業			令和6年度主要事業の検証	
事業名	事業内容	目標	達成状況	取組み内容
取水・浄水・配水設備の適切な維持管理・更新	中央・塚越両浄水場及び取水井における各種設備の適切な維持管理と計画的な更新工事の実施 ・中央浄水場における配水ポンプのオーバーホール ・5号取水井揚水試験調査 ・3号取水井遠方制御装置の更新 ・塚越浄水場着水井送水ポンプおよび配水ポンプ盤・中継端子盤の更新など	水道使用者に対し、いつでも安定的に配水を継続するためには、常に設備の健全性を維持しておく必要がある。 そのため、計画的な設備点検及び更新工事を着実に遂行するとともに、必要に応じた修繕・長寿命化措置を適切に実施する。	◎	「取水設備」については、3号取水井遠方制御装置および塚越浄水場着水井送水ポンプ2台の更新を計画どおり実施し、設備の安定稼働を確保した。また、5号取水井では揚水試験調査を行い、井戸の現状を把握した。 「配水設備」についても、中央浄水場の配水ポンプ2台のオーバーホール、塚越浄水場の配水ポンプ盤・中継端子盤の更新を完了し、機能の維持・向上を図った。

水道管路の適切な維持管理・更新	中央・塚越両浄水場から各戸の給水装置まで延びる配水管の適切な維持管理と計画的な更新工事の実施 ・配水管等の漏水調査 ・重要施設配水管路の更新・耐震化など	平時における水道水の安定供給をより堅実に実施し、また、大規模地震時においても水道管路の被害を最小限に抑え、迅速な復旧を可能とするためには、常に管路の健全性を維持しておく必要がある。 そのため、水道管路のうち、極めて重要度の高い「重要施設配水管路」について、管路更新計画に基づき、着実に更新・耐震化工事を進めるとともに、地下漏水の早期発見や道路陥没等による2次災害を未然に防止するため、計画的な漏水調査を実施する。	◎	「重要施設配水管路」については、計画に基づき更新及び耐震化工事を進め、令和6年度末の耐震適合率は95.0%に達した。 また、漏水調査を実施し、発見された漏水については迅速に対応し、全て対処を完了した。
-----------------	--	---	---	---